

つなぐ

地域学校協働活動 ～地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える～

令和7年度 美濃地区社会教育研修会

つなげよう!地域と子ども ～持続可能な地域づくり～

令和7年8月22日に開催しました美濃地区の社会教育研修会についてご紹介します。当日は、管内の公民館関係者・社会教育委員・学校教育関係者や本研修会初めての試みとして現役の高校生の皆さんを含め、約100名にお集まりいただきました。当日は、子どもを核とした地域づくりに関する2つの実践発表やグループ別・全体交流会を行い、情報共有や意見交換を行いました。

実践発表:『地域課題探究～美濃市・関市×〇〇学～』

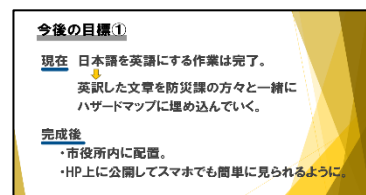
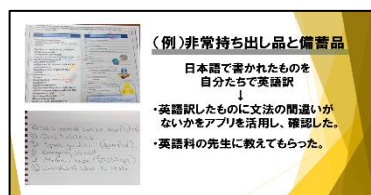
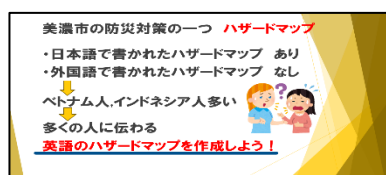
発表者:岐阜県立武義高等学校 普通科2年生の皆さん

武義高等学校普通科では、「総合的な探究の時間」を「自身の興味のある学問分野の切り口から地域(地域課題)を見つけ、課題の発見やアプローチを考える時間」と捉え、学習を進めています。当日は、学年の代表2チームより活動紹介がありました。



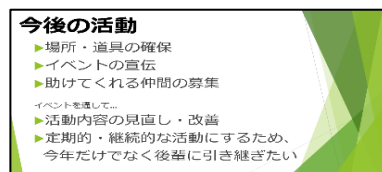
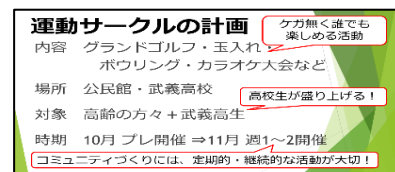
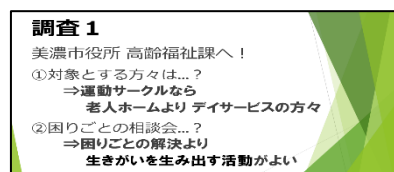
【実践発表①「美濃市×外国語学」チームより】

美濃市の人口に占める外国人の割合が増加傾向にあることを捉え、外国人との共生を目指し、美濃市の防災対策の一つであるハザードマップに着目しました。美濃市役所防災課への取材を行い、外国人向けのハザードマップを作成する必要性を感じ、取り組んでいます。今年中に完成予定です。



【実践発表②「美濃市×??学」チームより】

美濃市の笑顔を増やしたいとの思いから、高齢の方々のコミュニティづくりを通して、笑顔を増やすことを考えました。「??学」なのは、あえて学問分野の切り口ではなく地域課題へ直接アプローチし、活動する中でメンバーそれぞれの興味のある学問分野(工学、教育学、看護学、数学)へ活かしていくため。美濃市役所高齢福祉課で意見や情報をお聞きし、市内で行われていた体操教室へも参加しました。今後、高齢者と武義高生と一緒に体を動かして楽しむ会を計画中です。



実践発表：『「帰ってきたい」と思える高鷲へ～高鷲地域学校協働活動を通して～』

発表者：郡上市高鷲町学校運営協議会



高鷲小学校、高鷲北小学校、高鷲中学校から選任された委員を中心に総勢約 20 名で構成されている高鷲町学校運営協議会。小中ごとの部会による活動のほか、3 校合同による活動が大きな特徴になります。小中の 9 年間を通し連携した活動が可能となり、地域の方々が中心となって活動できる点が魅力です。

【3校合同活動「花壇まめかなプロジェクト」について】

活動のはじまりは、高鷲中学校の生徒らが、地域の人や観光客のために整備していた高鷲観光協会前の花壇の整備活動をしたことからでした。現在は、観光協会前の花壇だけでなく、地域内に点在する手入れされなくなった花壇の復活に取り組むなど、活動に広がりが出ています。

【各小・中学校部会より】



【参加者からの感想（一部抜粋）】

- ＊高校の探究活動の実践に臨む高校生の姿勢に当事者意識を感じました。こうした学習を通して、将来の美濃地区、関市、美濃市、郡上市に貢献する人材が育つことを期待します。
- ＊高校生の発表では、全ての生徒がそれぞれの活動があるのか知り、今日の紹介された他にどんな活動があるのか知りたいと思いました。高校生の行動力に感心しました。
- ＊高鷲町の取り組みは、学校運営協議会の皆さんの長期にわたる熱量と、それにこたえる子どもたちの地域に対する愛を感じました。帰ってきたい高鷲になると確信しました。
- ＊高鷲町学校運営協議会の取り組みは、9 年間で子どもを育てるという、興味深いものです。「帰ってきたい」と思える地域には、思いを受け止められる環境づくりも必要になるのだろうと感じます。

グループ交流会では、武義高校生と関市市民協働課「VS プロジェクト」の高校生メンバーも加わり、様々な立場・世代が「持続可能な地域づくり」の実現に向けて活発な話し合いを行いました。



【参加者からの感想（一部抜粋）】

- ＊高校生の声を直接聞くことができ、今どきの若者は大人が考えている以上にしっかりと自分の意見をもっていることに驚かされた。日本の未来も捨てたものではない。もっと若者を信じたいと強く思った。